
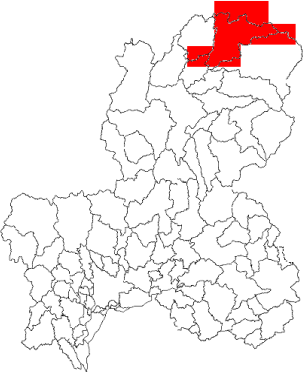


フキユキノシタ	<i>Saxifraga japonica</i> H.Boissieu	絶滅危惧 I 類
		ユキノシタ科
選定理由	生育地が分布の境界にあたり、生育面積が極めて狭く、個体群も希少である。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	茎は地上で分枝せず、束生する根生葉は葉身が長さ幅ともに15cmほどで長柄があり、フキの葉に似る。花茎は20-60cmになり、時に茎葉をつける。白色～帯赤紫色の花は放射相称でやや疎らな円錐花序をつくる。斜開する4mmほどの長卵形の花弁は5枚あり、早落性。	
生態的特徴	多雪地帯の深山～亜高山帯の谷川沿いに生え、7-8月に花をつける。	
分布状況	日本固有種。北海道、本州(福井県以東)、四国の亜高山帯に分布し、岐阜県では神岡町の標本がある。	
減少要因	自然遷移や大規模な林道工事などによる生育地の崩落・埋没が懸念される。	
保全対策	生育地の保全	
特記事項	開発工事の計画には、小規模な場合でも、事前の調査と細心の注意が必要である。	
参考文献	原 寛(1939)大日本植物誌 ユキノシタ科: p.70-71. 三省堂 牧野富太郎(1961)牧野新日本植物図鑑. : p.232. 北隆館 佐竹義輔他編著(1982)日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類:p.171,pl.160-5. 平凡社	

文責:後藤常明